

開講科目名 / Course	微生物免疫論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期、3 学期 / Second,Third	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	吉田 成一	
担当教員名 / Instructor	吉田 成一、松本 昂	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	10	
科目の目的と概要	院内感染防止や感染看護に関する知識は看護業務を行う上で重要である。本講義では、臨床上問題となる感染症を理解し、患者への対応、処置等感染症に対する看護の基本的事項について学ぶ。またこれらの感染に対する生体側の防御機構、感染症の予防・治療について理解する。	
到達目標	1. 各種微生物の特性を説明できる。 2. 病原微生物による疾患の発症機序、特徴を説明できる。 3. 院内感染をはじめとした各種感染症の予防について説明できる。 4. 各種感染症の治療について、説明できる。	
DPとの対応	2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能	
授業計画	01. 微生物学総論 02. 微生物学の基礎 03. 感染と感染症 04. 感染に対する生体防御機構 05. 滅菌と消毒 06. 感染症の治療 07. 公衆衛生 08. 感染症とグローバルヘルス 09. 各種感染症各論 10. 感染症関連法規・薬害	
その他の授業の工夫	各種感染症で見られる典型的な症状の写真を提示し、感染症に対する理解を深める。 また、各回の事後学修についてGoogle Classroomを活用し、担当教員が適宜助言を行っている。	
時間外学修	事前学修：次回の学習内容について配布資料や教科書を用いて予習する（4h）。 事後学修：自主学習課題（学習ノートの提出を含む）を用いて復習する（15h）。 各回講義前に、「1.事前学修」を行い、講義後に、「2.講義内容のまとめ・整理」を行い、さらに提示された「3.事後学修課題」に取り組むこと。これら3項目をとりまとめ、Google Classroom上に提出すること。	
評価方法と評価割合	試験 (100%)	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [4] (医学書院)	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他	全ての微生物感染症について詳細に扱うには、時間的な制約があるため、特に重要な点を力説する。その他講義で扱えないものは、各自で教科書を読み、概要を理解すること。質問は、講義中、講義時間外のいずれでも受け付ける。	
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		